

# 太平洋クロマグロ2017年生まれ 加入量モニタリング情報 (第4報 2018年10月)

国立研究開発法人  
水産研究・教育機構 国際水産資源研究所

- 資源評価に使用している、1980年からの各年漁期(7月から翌年6月)の曳縄漁船の小型魚CPUE(漁獲努力量あたり漁獲量)を長期加入量指標として分析した。
- 2017年生まれ群の加入量指標は、過去37年の平均並みか若干それを下回る水準だった。

(※1) ISCの将来予測(今後の資源の推移)では、暫定回復目標の達成までは低加入(平均の33%減)が継続する条件で達成確率を評価している。

(※2) 正式な加入量の推定値は、資源評価において、本加入量指標に加え、他の漁業データも合わせて総合的に分析され、確定される。

(※3) 加入量水準情報第4報は、曳縄モニタリング船のデータに基づく第1報から第3報までの解析とはデータソースが異なる。

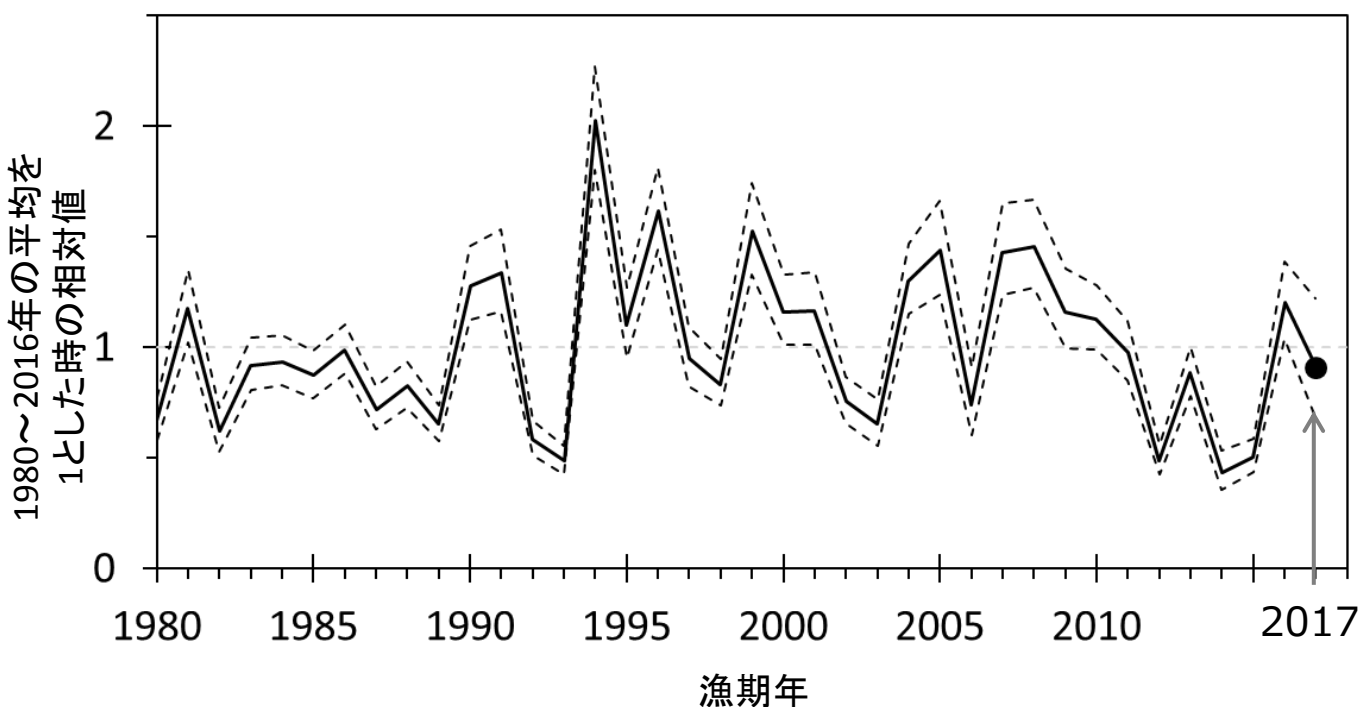


図. 1980~2017年の長期加入量指標(曳縄CPUE)の相対値.  
図中の点線は95%信頼区間を示す.